



あ や め



待ち遠しかった2年生の宿泊行事!!

1月16日(火)～17日(水)に、2年生は長野県の鹿島槍スキー場を舞台に、スキー教室を無事実施してきました。

本校では、泊を伴う校外活動も中学校生活3ヶ年を見越したうえで、校外・校内の行事等も参考にしながら計画が立てています。3ヶ月後の修学旅行の取り組みも並行して進めている中なので、修学旅行に向けても生活面もきちんとしていこうという意識が存分に表れていました。

さて天候は、1日目に雪が降りしきる状況に加え風も強く吹く中でのレッスンとなりました。一方で2日目は絶好の快晴となり、北アルプスの鹿島槍ヶ岳や爺ヶ岳などが照り輝いているなかで存分にウィンタースポーツを満喫できたのではないのでしょうか。

結団式の中では、校長先生から「大自然の中で、日常から離れた状況で自分を見つめ直してください。また、自分自身がしっかり楽しんでください(7割)。ただし自分だけが楽しむだけでなく、集団生活なので友人が楽しむことも思いながら活動してください(3割)」と励ましをいただきました。それぞれの思い出とともに、一歩成長することができるのではないのでしょうか。

また、学年の仲間とともに、厳しい寒さのなかでも、白銀に思い思いのシュプールを描く、印象に残るスキー教室になったのではないのでしょうか。健康管理も含めて、事前の取り組みをしっかり行い、大きな怪我もなく、安全に実施できたことはとても素晴らしいことだと思います。特に、インストラクターの指示をしっかり聞き、仲間と助け合う中での活動の様子は、とても印象的でした。



いざスキー教室、鹿島槍へ!!

ところで、結団式の中での校長先生の話に変化が見られました。2年生のみなさんは気づかれ了吗か。これまで校長先生が集団での行事に際し、よく話題に出していたのが、「自分が楽しむのが8割、みんなが楽しむためにワガママを我慢するのが2割」ということでした。今回のお話では「自分のため7割、周囲のため3割」と10%割合が変わりました。(ここからは推測ですが)2年生全体で行事を成功させていこう、という意気込みが日常生活からも感じられ、個人においての成長も見られていたことから、「自分の楽しみ≠周囲の楽しみ」、すなわち『みんなで楽しむことが、自分自身も楽しめる』ということと同じようになってきた」と感じられたからではないのでしょうか。

今回、泊を伴う行事を成功させたことは、修学旅行に向けての大きな一歩になったことと思います。また、日常の学校生活を離れて2日間寝食を共にするという経験は、生徒たちにとってかけがえのない時間となったと思います。係別の実行委員会等でそれぞれ分担した仕事に責任と自覚を持って取り組めたことは、生徒たちの自信となって次につながっていくことと思います。

今回のスキー教室における成果と課題を明らかにし、今後の活動がさらにステップアップしていけるように、願っています。

(1/16・17 2年生スキー教室)



